

議会が **もっと** / 近くなる

市民の声



創業は江戸時代です

古沢 功さん・努さん
(分水地藏堂本町三丁目)

今は米五酒店ですが、昔は米屋五郎八という米屋で、米と五をとり米五酒店になりました。私が9代目、店を切り盛りしている次男が10代目で、この町で一番古いです。大型店への対策として4、5年前から買い物に出られないお年寄りの家に食材を配達しています。後継者がいないのが問題ですね。市への要望は空き店舗の活用を考えてもらいたいです。



もっと空き店舗の活用を

坂田公雄さん・操さん
(分水上諏訪)

父が始めて64年目になります。私の代になって30年、女房と2人でやっています。父は95才になりましたが元気で店に出てきます。仕事上で困ることは、ネットで購入した外国の高級時計が壊れたと言って来られるのですが、ロレックスですと10～15万円くらい、ドルチェが買えるほどかかるんですよね。ノートブックはある程度見ます。市への要望は空き店舗の有効活用ですね。

人が集まる商店街になるには



小川昭子さん
(分水地藏堂本町二丁目)

薬局は昭和35年ごろからですが、薬店としては古く、私たち夫婦が8代目で娘は9代目です。昔は残業帰りの人のため、夜10時まで店を開けていました。今は大型店に無い物を買いに来られる程度で、商売が続けられるのも院外処方のおかげです。広報も見っていますが、ノートブックの方が読みやすいですね。関心があるのは一般質問ですが、短い文章なので内容がわからないことも多いのが残念です。



私たちはこの店の看板娘です

長橋尚江さん・吉原幸子さん
(分水地藏堂本町三丁目)

地域密着型のスーパーを心がけ約60年。品揃えを工夫しています。お客さんの要望なら、お総菜やおはぎ・赤飯・お寿司など何でもつくりますし、配達もするので喜ばれています。学校給食に野菜を納めたりもしています。病院帰りに寄ってってくれるお客さんも多いですが、昔からみたら…賑わいが懐かしいですね。

毎日二人三脚で頑張っています



渡辺弘二さん・幸恵さん
(分水地藏堂本町二丁目)

今のお店は昭和11年から営業しています。私は17年前に三代目を継ぎました。うちの一押し「茶つぼまんじゅう」は、注文を受けつづけています。これから、お客さんのご要望に応え、伝統を守っていきたいです。ノートブックは、話題についていくために見ることはあります。市に望みたいのは、今の時代に合った商店街の活性化策ですね。

今回は、坂田時計店、まるしん、米五酒店、小川薬局、渡辺菓子店のみなさんにご協力いただきました。

編集後記

議会報の委員になってあっという間の1年ですが、取材活動の中でさまざまな出会いもあります。今号では商店を営む皆さんのパワーにふれました。70代の女性店員さんが「私はこの店一筋です」。看板娘として地域に愛されるお店づくりをされているのだと、この一言に感動しました。 宮路敏裕

今号の表紙

2月3日は節分です。「福は内」「鬼は外」、鬼は怖いから豆をぶつける…ちょっと待ってください。分水国上の伝説の鬼「酒呑童子」を知っていますか。日本で一番有名、そして最強。「鬼も内」と、おもてなしするのはいかがでしょう。私も豆が食べたかったのだと、「酒呑童子」が申しておりました。

【議会報等特別委員会】

- 委員長：渡邊雄三 副委員長：長井由喜雄
- 委員：タナカ・キン 宮路敏裕 柳川隆 白井丈雄 山本知克 山崎光男

スマートフォンやタブレット端末からアクセスできます

